

家族でやってみよう 危険予測トレーニング



家族一人ひとりが事故にあわないように安全に外出するために、危険予測を習慣づけることはとても大切なことです。伸びた生垣で見通しの悪い交差点や、交通量の多い通り、車の出入りが多いお店や施設があるなど、自宅周辺で危険だと思われるところを探してみましょう。そして、それを家族みんなでお話し合い、共有することで全員の意識も高まり、事故防止につながることでしょ。子どもの目線にならないと気づかなかった「あぶない」や「こわい」を知ることができるチャンスです。お子さんの意見もどんどん聞きましょう。

おうちのひとのための

鯖江市

2月号

交通安全新聞



3
回
目
の
教
室
が
始
ま
っ
て
い
ま
す。
見
学
、
応
援
に
ぜ
ひ
い
ら
し
て
く
だ
さ
い
!



傘を上手に使って交通安全

<ポイント>

両手でしっかりとぎって真っすぐさす
→視界の確保

横断中は傘を少し上げる
→自分の存在を運転者にアピール



傘が道路にはみ出していると自転車や車にぶつかる危険性があります。傘を自分の体の一部だという気持ちで歩いたり安全確認をしましょう。

～ 春から新一年生の皆さんへ。～

ランドセルを自分で背負う練習をしよう!

市の交通安全教室ではランドセルを背負って歩く練習を年長さんに実施しています。室内で行い歩く距離は短いですが、本を入れた重たいランドセルを自分で背負い、肩紐のねじれを整え、手を挙げて前を見て早歩きする姿はとてもカッコいいです。

